

平成 20 年度生理学研究所研究会
糖鎖機能研究会・・・分子レベルでの解明を目指して

開催日:平成 20 年 5 月 22 日(木)から平成 20 年 5 月 23 日(金)

場所:生理学研究所 山手 3 号館 2 階 大会議室

(〒444-8787 愛知県岡崎市明大寺町字東山 5-1)

提案代表:辻 崇一(東海大学糖鎖科学研究所)

所内対応:池中 一裕(分子神経生理部門)

5月22日(木)

13:00—13:10 開会挨拶 池中一裕、辻 崇一

セッション1 司会 池中一裕(生理学研究所)

13:10—13:35 加藤龍一(高エネルギー加速器研究機構)

放射光施設における糖鎖生物学

13:35—14:00 中田 博(京都産業大学)

担癌状態におけるムチンの生物学的機能

14:00—14:25 長東俊治(大阪大学大学院理学研究科)

糖鎖の網羅的構造解析からシステム解析へ

休憩(14:25—14:40)

セッション2 司会 稲津 敏行(東海大学)

14:40—15:05 戸谷希一郎(成蹊大学理工学部)

糖タンパク質品質管理機構へ合成糖鎖を駆使した分子レベル解析

～

15:05—15:30 安藤弘宗(岐阜大学応用生物科学部)

糖鎖機能の分子的理解に有用な糖鎖合成法の開発

15:30—15:55 水野真盛(野口研究所)

フルオラス合成法による迅速糖鎖合成手法の開発

休憩(15:55—16:10)

セッション3 司会 梶本哲也(鈴鹿医療科学大学)

16:10—16:35 田村純一(鳥取大学地域学部地域環境学科)

プロテオグリカンの化学合成と生物活性

16:35—17:00 宮田真路(神戸薬科大学)

コンドロイチン 6-O-硫酸基転移酵素-1 過剰発現マウスを用いた脳

におけるコンドロイチン硫酸鎖の機能解析

17:00—17:25 三好征司(信州大学大学院医学系研究科)

ヒアルロン酸細胞外マトリックスにおける血管・リンパ管新生と腫瘍

関連マクロファージとの関係について

休憩(17:25—17:40)

セッション 4 司会 等 誠司(生理学研究所)

17:40—18:05 中野明彦(東京大学・理系・生物科学)

ゴルジ体とタンパク質輸送: ライブイメージングによるアプローチ

18:05—18:30 松野健治(東京理科大学基礎工学部)

Notch 情報伝達における O-フコシル化の機能

18:30—18:55 殿山泰弘(京都大学大学院 医学研究科)

メダカ初期発生過程における糖鎖の機能解析

懇親会

5月23日(金)

セッション 5 司会 鈴木邦彦

9:00— 9:25 米重あづさ(東海大学)

新生仔マウス小腸におけるスフィンゴ糖脂質の発現変化

9:25— 9:50 宮本勝一(近畿大学医学部 神経内科)

実験的自己免疫性脳脊髄炎における複合型ガングリオシドの役割

9:50—10:15 湯山耕平(国立長寿医療センター研究所)

GM1 ガングリオシドのエンドサイトーシス制御によるアルツハイマー病細胞モデルの構築

10:15—10:40 三浦 剛(千葉科学大学・薬学部)

ベロ毒素中和活性を有するスフィンゴ糖脂質Gb3類似体の合成

休憩(10:40—10:55)

セッション 6 司会 辻 崇一(東海大学)

10:55—11:20 山口芳樹(理化学研究所・糖鎖構造生物学研究チーム)

糖タンパク質の立体構造からみる糖鎖の機能

11:20—11:45 加藤晃一(岡崎統合バイオサイエンスセンター)

糖タンパク質の細胞内運命を司るレクチンの分子認識

11:45—12:10 石水 毅(大阪大学大学院理学研究科)

植物糖タンパク質糖鎖加水分解酵素の発現制御による生長制御

12:10— 閉会挨拶 池中一裕、辻 崇一